※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0098

平成３１年度行政事業レビューシート（ 内閣府 ）

事業名	沖縄国立大学法人施設整備に必要な経費		担当部局庁	沖縄振興局	作成責任者
事業開始年度	平成３０年度	事業終了（予定）年度 平成３６年度	担当課室	総務課事業振興室	室長　宮腰　奏子
会計区分	一般会計				
根拠法令（具体的な条項も記載）	–		関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針、沖縄振興計画	
主要政策・施策	沖縄振興		主要経費	文教及び科学振興	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	平成27年3月末に返還された西普天間住宅跡地において、琉球大学医学部及び同付属病院の移転を中心とする、国際性・離島の特性を踏まえた、沖縄健康医療拠点の整備を進める。沖縄健康医療拠点の整備を進めることで、沖縄振興への貢献や「長寿県」沖縄の復活、国際保健（グローバル・ヘルス）への貢献に寄与することが期待される。				
事業概要（5行程度以内。別添可）	琉球大学医学部及び同付属病院の主要な建物を整備するために必要な経費を計上し、沖縄健康医療拠点の整備に促進することとしている。 沖縄健康医療拠点の予算については、内閣府において予算計上し、文部科学省に予算移替を行い、交付する事を想定している。(10/10)				
実施方法	補助				

予算額・執行額（単位：百万円）

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求
予算の状況	当初予算	0	0	305	5,882	8,887
	補正予算	–	–	–	–	
	前年度から繰越し	–	–	–	–	
	翌年度へ繰越し	–	–	–	–	
	予備費等	–	–	–	–	
	計	0	0	305	5,882	8,887
執行額		0	0	305		
執行率（%）		–	–	100%		
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（%）		–	–	100%		

平成31・32年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由
沖縄国立大学法人健康医療拠点施設整備費補助金	5,882	8,887	
計	5,882	8,887	

成果目標及び成果実績（アウトカム）欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 チェック

定量的な成果目標の設定が困難な場合

定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と28～30年度の達成状況・実績
	本事業は、事業終了年度までに沖縄健康医療拠点の整備が終了することが目標となっている。 数値で達成度を示すことは困難	【成果目標】：沖縄健康医療拠点の整備に向けて、設計業務等を着実に進める 【実　　績】：基本設計の完了及び実施設計に着手。

事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績

代替目標	代替指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 – 年度	目標最終年度 – 年度
設計業務や土地の取得について適切に進める。	今年度予定している設計業務がスケジュールどおり進むよう実施する。	実績	–	–	–	–	–	–
		目標値	–	–	–	–	–	–
		達成度	%	–	–	–	–	–

活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込
	設計業務の実施	活動実績	件数	－	－	1	－	－
		当初見込み	件数	－	－	1	1	－

活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込
	土地の取得	活動実績	件数	－	－	－	－	－
		当初見込み	件数	－	－	－	1	－

単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込
	単位当たりのコストを算出するのは困難	単位当たりコスト	－	－	－	－	－
		計算式	-	－	－	－	－

事業所管部局による点検・改善

	項　目	評　価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	沖縄の特性を活かした沖縄健康医療拠点の形成を目指し、具体化に向けた議論を進めている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	事業の全体的把握及び関係者相互間の調整を行う必要があり、内閣府が主体となって整備することが適切である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	跡地利用のモデルケースとなるよう、西普天間住宅跡地における沖縄健康医療拠点の形成が円滑に進むよう、国として実施すべき優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、単位あたりコスト等の水準は妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	沖縄健康医療拠点の整備に向けて実施設計等が着実に進んでいる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	沖縄健康医療拠点の整備に向けて実施設計等が着実に進んでいる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）	-	-

所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果		
	点検結果	・沖縄健康医療拠点の整備に向けて実施設計等が着実に進んでいる。
	改善の方向性	・引き続き関係省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画に適切に反映させる。

外部有識者の所見

「事業目的」欄では、長期にわたる大学施設の整備が語られる反面、アウトカムが設定できない理由としては、単年度予算ゆえにアウトカム設定になじまないことがあげられていて、レビューシートの記述内容の統一がとれていないように思う。また、本年度の「実施設計」の契約者が、年度の「基本設計」の受託者に限定されているという点（支出上位10者欄）は、基本設計の契約時に、次の「実施設計」の契約者も決めるのだという認識があったとすれば、債務負担行為に近い契約だったことになるのではないか。

行政事業レビュー推進チームの所見	
現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、当該事業について、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。

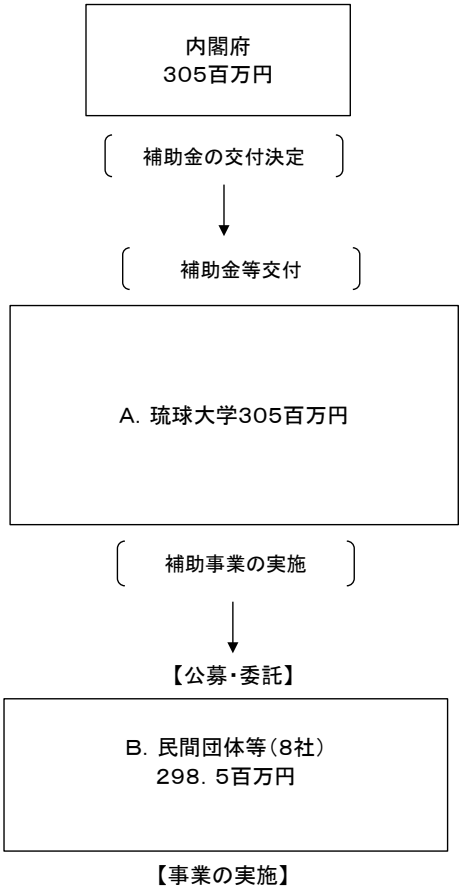
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、レビューシートの記述内容の統一がされるよう「定量的な目標が設定できない理由」の欄の文言修正。

備考
-

関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	内閣府 （ 新30 － 0014 ）						

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	A. 琉球大学			B.日本設計・テクノ工営・泉設計共同体		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	役務費	設計、設計支援業務等	298.5	役務費	移転整備実施設計業務	185
	人件費	非常勤職員4名（庶務・会計・管理部門）	5.5	-	-	-
	その他	旅費、消耗品、リース	1	-	-	-
	計		305	計		185
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	琉球大学	6360005001332	沖縄健康医療拠点事業の実施	305	補助金等交付	－	－	－

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	日本設計・テクノ工営・泉設計共同体	9011101009986	医学部及び同附属病院移転整備実施設計（研究棟・講義棟・附属病院）業務	185	随意契約 （その他）		91.5%	基本設計業務の内容を基に実施設計業務を遂行するには基本設計業務受注業者との契約が合理的であるため。
2	応用地質(株)	2010001034531	移転用地地盤調査業務	63	一般競争契約 （総合評価）	5	79%	-
3	(株)沖縄プランニング	5360001002351	地下水調査業務	20	一般競争契約 （総合評価）	3	96%	-
4	中央コンサルタンツ(株)	9180001026134	医学部及び同附属病院移転整備実施設計（基幹整備）業務	20	随意契約 （その他）		98.6%	基本設計業務の内容を基に実施設計業務を遂行するには基本設計業務受注業者との契約が合理的であるため。
5	エアロファシリティー(株)	9010401047523	医学部及び同附属病院移転整備に伴うヘリポート整備基礎調査業務	2	随意契約 （少額）			-
6	明豊ファシリティワークス(株)	7010001072436	医学部及び同附属病院エネルギーサービスプロバイダ事業者選定支援業務	2	随意契約 （少額）			-
7	(株)ライフィル	5012301007387	動物実験飼育検討支援業務	2	随意契約 （少額）			-
8	日本設計・テクノ工営・泉設計共同体	9011101009986	建設市場単価調査業務	1	随意契約 （少額）			-
9	（株）南西環境研究所	4360001004365	緑地材料調査	0.5	随意契約 （少額）			-
10	西村あさひ法律事務所	7010405010909	琉球大学医学部及び同附属病院エネルギーサービスプロバイダー法律相談	0.4	随意契約 （少額）			-